

令和 4年度予算見積調書

課室名: 行政・デジタル改革課

担当名: DX推進担当

内線: 2442

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B10	AI・RPA等による業務効率化推進事業		一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	行政改革推進費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	なし		針路		SDGsゴール	9
					分野施策		SDGsターゲット	9-2, 9-3, 9-4, 9-5,
1 事業概要			5 事業説明					
<p>AI等新技術の導入により、業務効率化、生産性向上を図り、職員が政策立案に集中する時間の確保や、ベテラン職員のノウハウや知識の継承等を目指す。</p> <p>(1) RPA技術による事務の自動化 62,736千円</p> <p>(2) 音声認識技術による音声テキスト化 1,320千円</p> <p>(3) 業務アシスタント推進事業 22,000千円</p> <p>(4) ヘルプデスクAI推進事業 10,367千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア RPA技術による事務の自動化 62,736千円</p> <p>イ 音声認識技術による音声テキスト化 1,320千円</p> <p>ウ 業務アシスタント推進事業 22,000千円</p> <p>エ ヘルプデスクAI推進事業 10,367千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 定型業務を自動化するRPAやAI-OCRの導入を拡大するとともに、既に導入したRPAシナリオの着実な運用を図る。</p> <p>イ 記者会見や各種会議等において、音声を自動で変換する議事録作成支援サービスの利用を推進する。</p> <p>ウ 税務局向けにAIを活用して、業務に関する文書・マニュアル等の高度検索を可能とする職員支援システム（業務アシスタントシステム）を運用するとともに、より効果を高めるため、対象ファイル拡張に伴うサーバの増強等の改修を実施する。</p> <p>エ 庁内向け自動応答システム（ヘルプデスクAI）を継続して運用するとともに、問合せ業務の拡大を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 定型的な事務に要する時間を削減することで、政策立案等の業務に集中する時間の確保が可能となる。</p> <p>イ 議事録作成支援サービスを活用することで、書き起こし等の単純作業に要する時間を削減することができ、職員が政策立案等の業務に集中する時間の確保が可能となる。</p> <p>ウ 業務に関する情報の一元化等により、スムーズな情報検索や属人化の防止が可能となる。また、人事異動時等の引継ぎやベテラン職員の知識の継承などに活用することができる。</p> <p>エ 時間外でも常時間合せが可能となり、職員の利便性向上、有人ヘルプデスクの負荷軽減が図られる。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円								
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	96,423						96,423	△25,987
前年額	122,410						122,410	